

木造。木質化のすすめ

設計家から見えてきた木材の利活用

◆◆◆20◆◆◆
小泉 治

小中規模建築で木造を積極的に取り組むメリット

製材との出会い

先日、青森県南部町の林業家・田中裕さんの黄綬褒章受章記念パーティに出席しました。田中さんとは、八戸市立西白山台小学校のプロジェクトで一緒に活動した。旧南部藩である八戸・久慈地域はアカ松の産地で、当時は青森といえはパシカ知らなかった私に、それぞれの地域に自慢の木材があると認識を新たにさせるものでした。

八戸市周辺には、八戸森林組合のほか、三八地方、上北の3つの森林組合があり、アカ松とともに杉も出荷していました。西白山台小学校で必要となるJAS材の木材寸法が製作できる工場ではなかったため公共工事の特記仕様書が必要となる品質との差が課題となりました。

必要な材料をJAS製材同等品とするために、青森県の林業試験センターの協力を得て、全数の含水率とヤング率を計測し、また抜き取りで強度試験を行いました。

青森県の林業試験センターは、地域の木材の強度が得られるメリットが



日刊木材新聞社の建築で大梁を揚重する

地域材製材と言われた

八戸市の木材は「強い木青森の木」としてブランド化できましたが、その後、私自身はその材料の問題を解決しているという意識を持てるようになった。

都市部での木材の利用

その解決のために、都市部の木材利用を推進する場で、ユーザーが身近な問題を解決しているという意識を持てるような

取り組みはないのでしょうか。そのことを通して木材や森林について考え、もたらえるきっかけづくりが可能ではないでしょうか。

また一方で都市近郊で、木材や森林関係で最近問題と考えているのは、荒れた薪炭林の保全と再生です。

エネルギー需要の変化や都市化が進むなかで、放置された薪炭林の再生も重要なテーマかと思えます。身近なごちの課題を解決しながら木材利用の意識を高めることができればと思います。

都市部での製材の利用

日刊木材新聞社の社屋では、準延焼防止建築物で木現しとしています。柱や梁は集成材となつていますが、2階の床は3階の床はCLTとなつています。これを、柱や梁を製材に、床もCLTの代わりに製材でマッシュホルツを作ることができれば、都市での木造・木質化に製材を使うことが可能になります。使う動機は現場での施工のしやすさになる可能性がります。

薪炭林の広葉樹を利用した木造・木質化は緩やかに始められたらと思います。そのためには、都心からなるべく近くルートが明快で、木材の個性を楽しめることが重要です。

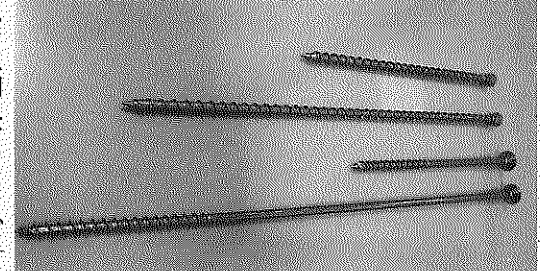
そのために、カウンタ―やベンチ、傘立てなどオフィスのエントランス周りで使うことができ、再利用可能な木材利用を考案できればと思います。

薪炭林の広葉樹を利用した木造・木質化は緩やかに始められたらと思います。そのためには、都心からなるべく近くルートが明快で、木材の個性を楽しめることが重要です。

「Xポイントプラス」販売を本格化

欧州産の長ねじなども取り扱い

若井産業の木質構造用ねじ



社として扱う。「工務店が非住宅木造に取り組みむときに「Xポイントプラス」を提供できる」と話している。

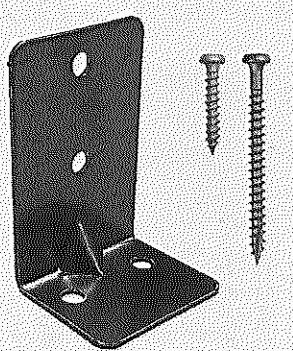
同社は接合具の総合メーカーであり、かつ商社機能も有することで様々な機能を持つ製品を提供してきた。日本木質構造用ねじ工業会に参加し、木質構造用ねじの規格（JIS A5559）とその試験方法（JIS A1503）の規定に準じた木質構造用ねじ「Xポイントプラス」を発売している。あおり止め金物（TS）の短期許容耐力はタルキ（SPF製材）の場合2.7kNだが、軒ゼロ用あおり止め金物（YHT）では同3.3kNとなった。また、近年の国産2x4材の使用拡大にも対応できるように上枠・頭つなぎに杉製材を用いて耐力を確認している。

「Xポイントプラス」は8mm径で全長110〜320mmまでの（全ねじ、半ねじ）の製品があり、先端特殊形状で施工性に優れている。CLTのような厚板に由来する特注金物を製作して使用するケースでも、ねじに置き換えることで製作費用を抑えることができる（同社）。

「軒ゼロ用あおり止め金物」発売

山菱工業（大阪市、河端豊社長）は、軒のない住宅が多くなるなか、「軒ゼロ用あおり止め金物」を発売した。近年、軒の出が小さい、あるいは軒のない住宅が増える傾向にあり、外壁からあおり止め金物が付けられない状況にある。このため、家の内側からあおり止め金物を取り付け、Cマーク表示金物のTS相当以上の耐力を確保できる。

ハウスプラス確認検査で強度試験を行い、Cマーク表示金物のTS相当以上の耐力を確保できる。



新発売の軒ゼロ用あおり止め金物

不燃リブパネルをリニューアル

アイカ工業（名品工屋市、海老原健治社長）は、不燃リブパネル「デコネル」の新形状・新柄2形状（3柄）を発売した。

デコネルは、商業施設や病院ほか向きの内装壁面仕上げ材。3X6（910X1820mm）サイズと大判サイズで、デザイン性、施工性の高さ、不燃性を併せ持つ。凹凸形状で立体感のあるリブ素材へのニーズが高まっているなか、名案加工や波の色はシルバーが主流だが、昨年以降、ファッションでもゴールドカラーが注目されていることや、風水の観点から運気を上げる色とされていることから、新たなラインアップとすることを決めた。



「デコネル」の新形状とメタリック柄を追加した。デコネルは5形状・7柄（全35種）となった。標準納期は約2週間。厚みは最大12mmで、税別設計価格は単色・レザが1枚7万円、メタリックが同7万2000円。年間販売目標は5000万円。